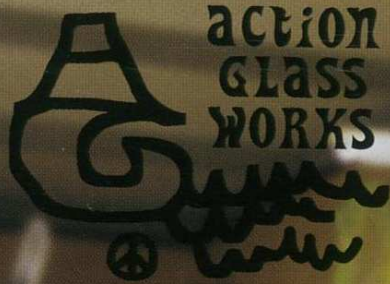


BETWEEN SURFERS



action
GLASS
WORKS

photo : Aki

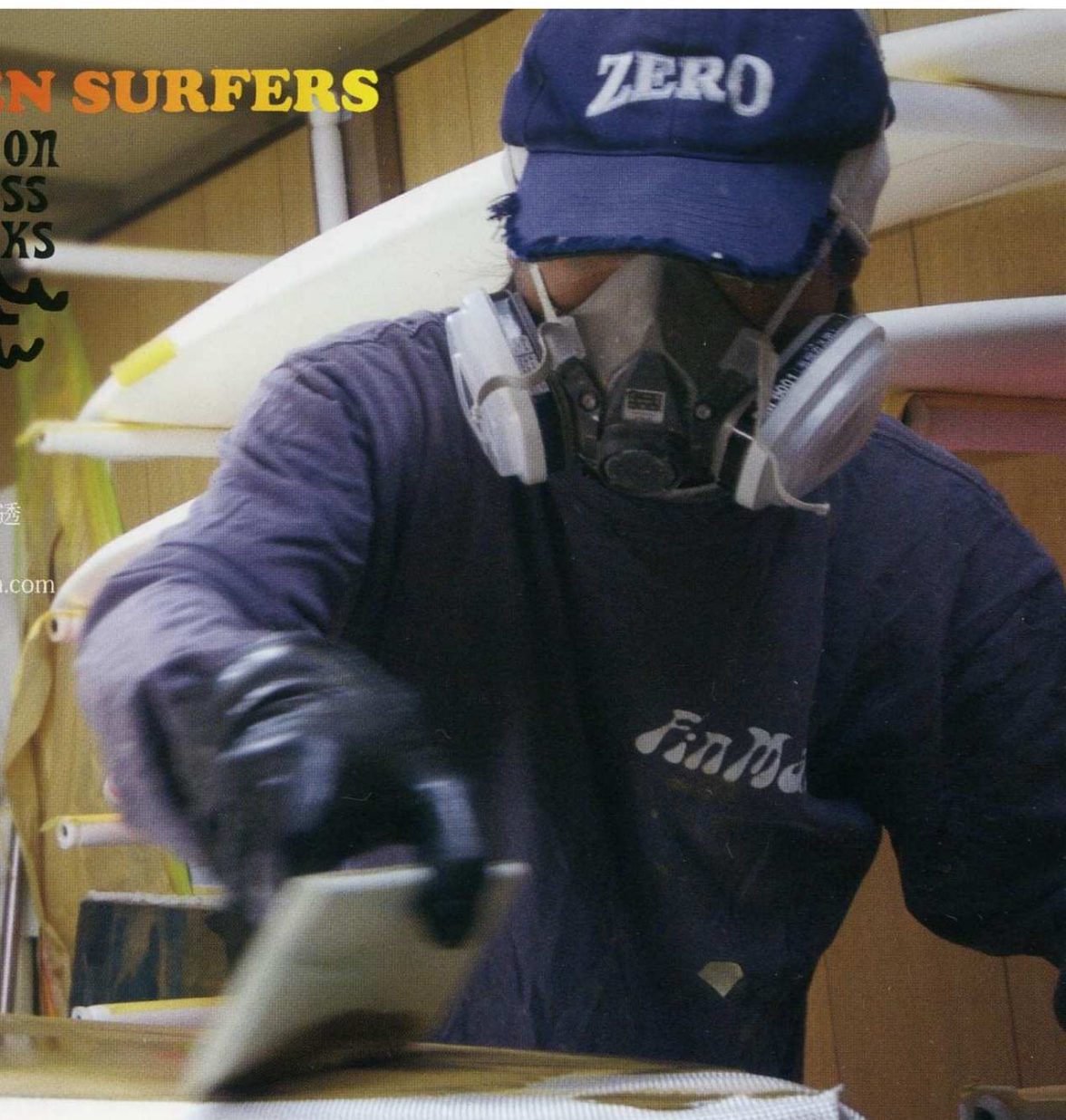
text : Jun

special thanks :

action glass works 大貫 透

www.agw-finman.com

E-mail : agw@agw-finman.com



Searching for the essence of surfing



波がある時にそこにいる事。よく言われる事だが実践するのは中々難しい。でもそれが一時的でなくて恒常的にできなくなったら何のサーフィンダストリーかと大貫さんは言う。良いサーフィンをしてこそ良い仕事ができるという事かな。



穏やかでホットという感じの大貫さん



ボートトリップでモルジブへ



この技術がボードの強度に影響する

今回の Between Surfers は藤沢を拠点にサーフボード製作に関わるグラスショップ「アクション・グラス・ワークス」オーナーの大貫さんです。グラスショップとはサーフボードの素材を削って形となったものにガラス樹脂を巻き、その後の工程も含めてボードの完成までを担当するファクトリーのことです。大貫さんはパートナーの小玉さんとともに他にもリペアやフィンの注文制作もされています。

取材の日は夏の兆しを感じる気持ちの良い快晴でした。早朝8時半に訪ねた場所は海岸から車で30分程の藤沢の閑静な住宅地。平屋建てのファクトリーの前にはパラソルとソファが置いてあり、かなり良い雰囲気漂っています。ドアをノックするとしばらくして現れた方が大貫さんでした。我々にコーヒーをドリップしてくださり、外のソファでインタビューが始まりました。

▼前回の富永忠男さんからご紹介いただいたのですが、お付き合いは長いのですか？

■もう20年近くになりますね。知り合ったのは僕がサーフボード製造の仕事に就いて暫くした頃だったと思います。富永さんはやはり稲村ヶ崎でのサーフィンが印象的です。ガンと呼ばれる長いボードで大きな波に乗る姿とサーファーとしてのライフスタイルには大変影響受けました。

▼サーフボード製作の工程でというシェイパーばかりが注目を浴びがちです。確かに『形』という面ではシェイパーにかなり依存すると思いますが、裏方的に見られがちなグラスショップにももっと注目すべき面白さがあると思うのですが？

■そうですね。もっと皆さんに拘って欲しいです(笑)。ボード強度などのハード面は最も基本的な部分ですがそれ以外にも色や模様デザイン、材料のディティールなどの奥深さもありますよね。これも心理的に影響を与える大事な部分だと思います。以前カリフォルニアで修行した時には本物をほんとうに数多く見ました。向こうはサーフィンの全てに歴史があって本当に奥が深いです。

透過した光が屈折したり、様々な模様が偶然にでき上がったり、グラスアートは本当に面白いです。お客さんの中にはシェイプはオーダーでもカラーデザインお任せという方がいるんですね。そこを一步踏み込んで質問してゆくと、実は好きな色やデザインが見えてくるし気が付く。そんな感じでお客さんのフォローをして引き出すことができたと思います。

他にもやりたいアイデアが頭の中の引出しに色々入っているのですが、たくさんあり過ぎちゃって整理できてい



リペア待ちのサーフボード達

自分で作るからこそ面白い！

ボード好きにはたまりません

ない(笑) 今後徐々に形にしてゆきたいと思っています。

▼『フィンマン』というブランド名でフィンのカスタムメイドもされていると伺いましたが。

■はい、フィンは取り外しが可能なシステムができたことによりより注目されるようになりましたね。サーフボードはフィンを替えるだけでもまったく違う乗り味になりますから、自分のライディングやボードに最も合うタイプを見つけるのは楽しいですよ。更にカスタムならば形は無限ですよ。AGWでもオリジナルな物を多く作っています。サーフショップやシェイパーのオリジナルから個人的なものまで。既製品で満足できない方はぜひご相談ください。

▼あまりに多くの組み合わせができることで悩んでしまう人が多いのでは？

■悩んでしまうというよりもベーシックなセッティング以外を試してみる人が少ない気がします。もっとたくさんのフィンを試してみたいと思う。ライディングは人それぞれ違うのだからフィンの選択もセッティング位置もその人に合ったものがあるはずですよ。確かに見つけるのはなかなか難しいとは思いますが、ボトム形状やレールのエッジ、ロッカーの度合いなどからイメージしたり考えたりすると段々と見えてきますよ。

▼ん～、やっぱり我々には難しい。

■ということでしたらご相談いただければ(笑)。僕らは本当に様々なテストを繰り返していますから自信をもってお答えできます。

▼最後にサーフィンについて何か一言お願いします。

■サーファーはやはりサーフィンしないと駄目ですよ。僕は根っからのサーファーですからいつもサーフィンができる環境でいたい。だからこの仕事を選びました。自分の大好きなポイントにいい波が立った時にそこにいること、その波に乗れる環境にいること。中々できないですけどね。色々苦勞はあるけどそれは大事にしたい。もちろん家族が一番先ですけど。家族がいて支えてくれるからこそ仕事がいい形になってゆくから。でも時々波乗りが先になっちゃう時があるけど(笑)。

それから子供達が楽しくサーフィンできる手助けをしたいですね。そしてサーフィンを通して自然の偉大さを感じたり、人としてのモラルの大切さを学んだりして欲しいですね。▼お忙しい中、早朝からありがとうございました。今度フィンの相談に来ます！

■こちらこそありがとうございました。いつでもOKですよ。連絡ください。



左上は新作のバルサ。アブストラクトもカスタム感たっぷり。

同じカーブ、職人技です！

フィンマン小玉さん

ボードにガラスクロスを巻く

